第２０号

東稲ニュース

早稲田大学東久留米稲門会

平成１６年１１月１０日発行
発行責任者　帆角　信美
編集責任者　比護　喜一郎

http://homepage2.nifty.com/35292/

会の告知板

11月21日(日)　東久留米稲門会創立10周年記念会行事
早大グリークラブ演奏会・懇親パーティ　（委細案内書参照）
28日(日)　第９回ウォーキングを楽しむ集い
汐留新都心から高輪泉岳寺へ
９：００　東久留米駅中央改札口集合　（詳細添付案内書参照）
12月 5日(日)　東久留米雑学塾
10:00～11:45　成美教育文化会館　３Ｆ大研修室
講師　荒川正行氏（当会会員）
演題　「地域防災力強化への取り組み」—東久留米自主防災研究会の活動
聴講無料　（詳細添付案内書参照）
5日(日)　第５回定期役員会　15:00～16:30　成美教育文化会館
5日(日)　役員・顧問・部会長合同忘年懇親会
17:30～21:00　「磯久」
25日(土)　年忘れカラオケを楽しむ集い
18:00～21:00　滝山シダックス　（詳細添付案内書参照）
1月15日(土)　東久留米稲門会新年会
18:00～21:00　成美教育文化会館　（詳細添付案内書参照）

[大学・校友会関係]
１１月１３日（土）　商議員会　総合学術センター井深大記念ホール

[部会スケジュール]
書道部会　例会毎月第２日曜日　１３：３０～１６：３０
11月10日～14日　市文化祭に出展
太極拳部会　毎週土曜日　１０：００～１２：００　成美教育文化会館１Ｆ
＊12月25日は例会後忘年会（予定）　成美教育文化会館
俳句部会　12月19日　例会後忘年会　兼題：「寒椿」
囲碁部会　毎月第４日曜日　１３：００～１６：３０　成美教育文化会館３Ｆ和室
ゴルフ部会　11月26日(金)　第２回　東久留米稲門会/三田会　ゴルフコンペ
新武蔵丘ゴルフクラブ　８：３１　Tee off　（詳細添付案内書参照）

会の行事

第８回「ウォーキングを楽しむ集い」開催～見沼代用水東縁コース巡り

９月２３日の秋分の日、午前９時までに東久留米駅中央改札口前に往年の美男美女１６名が集合し、１０時近くに武蔵野線東浦和駅に降り立った。天候は曇り、気温は２７度と絶

好のウォーキング日和だった。ちょっと歩いて見沼代用水西縁に出てから鬱蒼とした樹木に覆われた通船堀公園を横切って通船堀に出た。この堀は江戸時代に年貢米を江戸に運ぶために作られた大掛かりな堀で、水位の違う堀に百俵あまりの米などを積んだ「ひらた舟」を通す**閘門**が３つほど設けられていた。この**閘門**は規模こそ違うが、パナマ運河と同じ仕組みだ。江戸時代に人力でこれだけの規模の堀を作り上げ、**閘門**まで築いた技術力の高さに驚きつつ堀沿いの道を歩いた。代用水の東縁に突き当たって右に回り、東縁沿いの「緑のヘルシーロード」を歩き、１２時近くに川口グリーンセンターに着き、広大な芝生の広場の一角に陣取って、持参した弁当を広げた。昼食後ぐるっと園内を回ってから再び代用水東縁に出て、東縁沿いの遊歩道を歩いた。川側には桜やハナミズキ、クスノキ、山桃、ゆりのき、ポプラが順序立って植えられ、目を楽しませてくれた。最後に玉龍寺から地蔵院に出て天然記念物に指定されているタブの巨木を見て、桜町２丁目バス停から３０分ほどバスに揺られて赤羽駅に着いた。下見の時に見つけた居酒屋に全員揃って直行し、まず１人１０００円のトワイライトコースを注文し、生ビールで乾杯して渇いた喉を潤した。普段ビールすら飲まない女の人もおいしそうにビールを飲み、男性陣を驚かせた。もとよりこのコースで足りるわけがなく、さらにお酒や料理を追加注文して飲んで食べて大いに語り合って１時間半ほど過した。そして心地好い疲れと酔いに陶然となって赤羽駅から帰途についた。（帆角信美記）

映画鑑賞会（第8回）

１０月１６日（土）、第８回映画サークル鑑賞会が市民プラザホールで開催されました。上映作品「断崖」の原題は　F・アイルズの《犯行以前》の映画化で、謎めいた結末が設定されています。物語は社交界の人気者だが仕事も金もないダメ男（K・グラント）が富豪の娘（J・フォンテイン）と駆け落ちするか、借金に窮し若妻の遺産と保険金を狙い殺害するかどうかの心理的スリラーです。果たして殺害（毒殺／断崖からの突落とし）するかどうか、洒落た台詞とさりげない伏線が観る者の心を段々と高揚させてゆきます。光と影の魔術師A・ヒッチコックの緻密な演出が冴えた古典的なミステリー映画の傑作でした。

女性はロマンとミステリーがお好きで、美男美女のスターを観ながら、今回も中高年の女性でいっぱいでした。

次回は来年１月を予定。作品は選考中です。　　（米光慶二郎記）

＊ 10月30日予定されていた「六大学秋季野球リーグ戦・早慶戦（初戦）観戦会」は降雨で順延となったため、中止となりました。

大学・校友会の行事

東京三多摩校友会支部大会

早稲田大学校友会東京三多摩支部大会が10月３日（土）午後３時から「あきる野市」秋

川農業協同組合本店、あきる野ルピアホールで白井総長、小林校友会代表幹事ら出席のもと開催された。三多摩２３稲門会から１５０名余の会員が参集、当会から菱山副会長、森田幹事が出席。

清瀬稲門会第7回定時総会開催

１０月３１日（日）午後１時半から清瀬・アミューホールで開催され、当会から帆角会長と菱山副会長が表敬出席。

代議員会

10月1日(金)午後5時30分より大隈講堂に於いて、16年度秋季代議員会が開催された。当会より平山事務局長、安次峰/山岡両幹事が出席。校友会会長である白井総長、小林代表幹事の挨拶のあと2003年度経常収支決算、規則改正等5項目の議案が承認され終了した。

ホームカミングデー・稲門祭

10/24（日）開催された今年度ホームカミングデーには、当稲門会では30名が招待該当年に当たり、多数の会員が出席した。同日併催された稲門祭の福引抽選会の結果は以下の通り。

＜ふるさと賞＞　吉川明美　　　＜おたのしみ賞＞　平山正徑

＜校友賞＞　栄田征子、竹山信保、比護喜一郎、猪狩誠二郎、三田　三

部会便り

太極拳部会

10月３０日は早稲田大学所沢キャンパスで野外稽古の日でした。生憎の雨模様で、「野外稽古はだめでしょう」と思いながら、東久留米駅へ急ぎましたら皆様はもう集まっていて、「構内でも出来るだろうから行きましょう」ということでしたので、皆様の仲間入りをさせていただきました。

小手指駅から大学行きの無料バスに乗車し、１５分ほどで豊かな緑に囲まれたキャンパスに着いた頃は本降りの雨となっていました。屋内のちょっとしたスペースを見出し、さっそく太極拳を始めました。最初は肌寒く体があまり思う通りに動きませんでしたが、終わり頃には硬直していた体がポカポカと温かくなりました。太極拳の良さが少し判ったような気がします。

昼食は栄養バランスが取れた小鉢や美味しいデザートがある学生食堂を利用致しました。中国の学生食堂と違い廉価で種類が多く「今日はどれにしようか」と、学生さんは毎日迷うのではないでしょうか。

太極拳を始めて半年経過しましたが、皆様の親切と励ましに感謝の気持ちで一杯で今後も頑張るつもりです。

当日暖かく接していただいた皆様どうも有難うございました。とても楽しい一日でした。

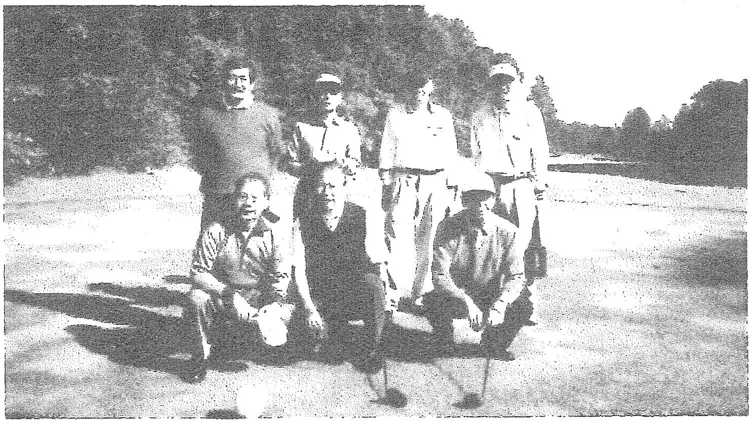
（非会員部員　金野蓓蕾記）

女性サークル

9月17日（金）例会開催。今後の活動予定、10周年記念行事への全面協力などを話し合った。

ゴルフ会

恒例の平成16年度秋季コンペが10月22日　飯能駅にほど近い「新武蔵丘ゴルフコース」で行われました。台風23号通過の翌々日、好天に恵まれた絶好のゴルフ日和。紅葉し始めた秩父の山々を眺めながらの楽しいラウンドとなりました。



参加者は初参加の２名を加えても７名と残念ながらチョッと淋しい参加者数でしたが、ラウンドは好プレーも続出。特に太田さんが最終18番の池越えのミドルで見事バーディーパットをねじ込んで３９を達成し、ゴルフ場からバーディー賞を贈られたのは特筆ものでした。優勝はハンデに恵まれて平山さんが獲得、準優勝はグロス８３の太田さんでした。

懇親会は地元に戻って駅西口の「鮮の庄」で開催、大いに親睦を深める事ができました。また席上太田さんから、来る11月26日(金)に予定されている三田会との第2回対抗戦へより多くの方々の参加をお願いしたいとのお話がありました。　　　　（上原　徹也記）

＜参加者＞　太田（晴)、久家、白石、橘（正)、平山、伊東、上原

囲碁部会

9月26日(日)、日本棋院市ヶ谷本院でオール早稲田囲碁祭りが開催された。今年で4回目ともなると、お互い顔見知りもふえ、親密度も増してきたような気がする。大会は1ブロック8チームづつ、AからEまでの5ブロックと、無差別級1ブロックの計6ブロックに分れ、1ブロックは原則として8チーム(40名)で構成され、それぞれで順位を競う。

当部会からは、Aブロックと E ブロックに参加、Aブロックは4位、Eブロックは5位とまずまずの成績であった。

大会終了後、当部会参加者全員が近くの「私学会館」に参集し、コーヒーとケーキなどで昼間の戦いの跡を静かに反省する時間を持った。

11月27日(土)から28日(日)にかけて、神奈川県の陣屋温泉での合宿が決まった。参加者予定者は過去最多の12名となり、変則リーグ戦(一人7試合)を行うことになっている。

（部会長　辰己徳蔵）

書道部会

東久留米市民文化祭に10名が出品

恒例の市民文化祭の書道展が11月10日（水）～14日（日）まで中央公民館で開催されます。部員有志（栄田卓弘、栄田征子、神田尚計、久家政裕、高橋勤、土屋久郎、平山正徑、深澤政次、福田稔、武藤豊）が持ち味を活かし書き上げた会心の作が展示されていますので是非ご高覧頂きますようご案内申し上げます。　　　　（平山正徑記）

俳句部会

第59回句会は箱根吟行。女性4名男性8名の参加。10月31日(日)9時新宿出発。行きの小田急ロマンスカーから、一瞬雪をかぶった富士山が見えた。

どよめきや車窓に富士の雪化粧　　　橘　正治(雅契)
車窓より新雪の富士雨あがる　　　　三田　三(畔巣)

箱根湯本で登山電車に乗り換え、強羅でケーブルカーに乗り継ぐ。

ケーブルカー登り詰めれば薄紅葉　　　大久保泰司
ケーブルカー山縫うほどに秋深し　　　比護喜一郎

強羅公園上駅で下車。二駅をまたぐほど大きな公園を散策。斉藤茂吉の碑があった。

おのづから寂しくもあるか　ゆうぐれて雲は大きく渓に沈みぬ

と刻まれている。園内はバラ、野あざみ、つわ蕗、十月桜、ススキに紅葉と色とりどりだった。

いっせいに染まりはせじと片紅葉　　　川島　知子

足は近くの箱根美術館へとのびる。手入れの行き届いた美しい苔庭。群竹。一際艶やかなうす桃色の紅葉の樹に見とれた。

揺れ竹を透かして紅葉静まれり　　　川島　知子
古陶磁の並ぶ館の薄紅葉　　　　　河村　洋子

小雨のぱらつく中、落ち葉を踏みしめながら、宿に向かう。

しぐるるや箱根の山もけぶり立ち　　　大久保泰司

ホテルエメラルドグリーンクラブ箱根(強羅)リゾートヴィラにて一泊。翌日は芦ノ湖で海賊船に乗ったり、箱根関所を見学したりして帰路についた。頭を使い、足を使い口もよくつかった(おしゃべりで)楽しい箱根一泊の旅であった。　　(川島　知子記)

＊上記掲載句は3点句以上

第14回東久留米雑学塾ー講演要約

10月3日（日）中央公民館で当会主催の第14回雑学塾が開催された。講師には当会会員であり、現在三和経営研究所所長として実業界で活躍中の酒井正敬氏（昭和13年生まれ）に登場願い、経営コンサルタント業42年間で約500社の企業を指導して感じた「会社はいろいろ、社長もいろいろ」を、実例に基づいてわかりやすくお話しいただいた。冷たい雨が降る中、参加された聴講者は示唆に富む講師の話に熱心に聴き入った。

講師は日本初の採用コンサルタントとして高い評価を得ており、今までに44冊の著書を刊行している。最近では「日本一の採用プロが教える『転職・再就職』絶対に成功する本」を昨年8月に三笠書房から出している。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

「会社はいろいろ、社長もいろいろ」

酒井正敬（当会会員・56年文）
三和経営研究所社長・中小企業診断士

○景気が悪い本当の理由

１９９０年のバブル経済崩壊後景気が回復せずに低迷している。例えば、外食産業の売上高

は売り場面積が３０％も増えているのに最盛期と比べて 2 兆円も減っている。その理由はこのところ日本の人口が増えていないというところにある。２０５０年には人口が８０５０万人に減るとの推計もあり、これからはこの現象が景気に重大な影響を与えるのは確実だ。

○会社にも寿命がある

会社には人間のように幼年期、少年期、青年期、壮年期、老年期の５段階があるが、青年期までの３０年の間に大半の会社が消えてなくなる。壮年期まで来た会社は面白い。壮年期の会社はおしなべて足腰がしぶとい。

○会社はドラマ

会社経営は人間のロマンだ。成功した会社は単なる儲け主義ではない。世のため人のため社員のために使命感を持って運営されている。

○会社には百社百様の違いがある

会社は社長次第だし、社長の信念、個性がもろに出る。会社が特徴ある形で存在感を持つのは壮年期をいかに長く維持できるかがポイントだ。

○会社の命運は社長の能力と運で決まる

社長のタイプは大きく、①武田信玄型（意志型）②織田信長型（理性型）③豊臣秀吉型（緒緒型）④徳川家康型（感情型）⑤繊細型（２、３代目に多い）、の５つに分けられどれが経営者として最適かは性格のみでは決められない。すなわち人間の能力とは性格知能指数で決まるからだ。それにプラスして運がいいという面は特に大事だ。私は採用に立ち会う時は運のいい人を採用するようにしている。

○社長は「明るく元気で、遊び好き、欲が深くて、いいかげん」が成功する

「明るく元気で」とは、読んで字の如く明るくて元気なことだ。つまりプラス志向の人ということだ。

「遊び好き」とは、仕事だけでは体を壊すから、社員から尊敬される趣味を持つということだ。

「欲が深くて」とは、がりがり亡者の意味ではなく、お客さま第一、社員のためを考て、仕事に意欲的に熱心に取り組むということだ。

「いいかげん」とは、バランス感覚が大切だということだ。

○２１世紀の会社はどうなるか

人口減に対しどう対応しどう手を打つかだ。今までの「ゼロサムゲーム」から「アップサムゲーム」の考え方が大切だ。強い会社だけが生き残るし、国際競争力の強い会社だけが生き残る。「ダウンサムゲーム」に巻き込まれた会社は消滅していく。

＜会員リレーエッセイ＞

噴水広場

高橋　勤（36年・法）

映　画　雑　感　―　フランスの４大監督

当稲門会では映画鑑賞会を一昨年から開催することとなり、往年の名画、思い出の映画を上映できればと始められました。戦後間もない混乱の中、娯楽と言えば映画の時代であった当時、戦前の洋画がぞくぞくと上映されるようになり、その中で印象に残り、感動をうけたのはフランス映画でした。

戦前のフランス映画を語るとき、やはり４大監督の名を挙げねばならないと思います。最初に、粋で軽妙さが持ち味のルネ・クレール監督です。「巴里の屋根の下」は歌と音楽と効果音を有効に生かし、その手法は新鮮であり、シャンソンもとり入れ、この作はトーキ

一初期の代表的な映画となりました。喜劇映画にもその才能を発揮、音楽的・喜劇的な「ル・ミリオン」と「自由を我等に」を製作。「自由を我等に」は感覚的にもテーマ的にも新しく、現在にも通用する映画です。オートメ化された工場でベルトコンベアの流れ作業と格闘する情景は、チャップリンが「モダン・タイムス」で模倣したと騒がれた作品です。現代に対する風刺、楽天的というか、小粋というかスマートな映画でした。明るい太陽の下、自由を謳歌し人生とはかくも楽しいものかと放浪の主人公二人が田舎道を楽しげに歩き去るシーンは印象に残ったラストでした。「巴里祭」は淡いユーモアとセンチメンタリズム、ほのかな哀愁と詩情、パリの場末の情緒をたたえた名画です。クレールは、エスプリとアイロニーの混ざりあったバランスのとれた監督でした。

ジュリアン・デュヴィヴィエはクレールと対照的にリアリズム映画の基礎を築いた監督です。運命の非情に巻き込まれ、人生に絶望したペシミズムにみちた映画を多く作っています。ジュール・ルナールの原作を映画化した「にんじん」。親友同士が皮肉な運命により一人は恋人と巴里へ、一人は友と恋する人を失い傷心を抱き、移民船にてカナダに旅立つ「商船テナシチー」。映画を見たあとの感銘は、そこには人生があり、運命に翻弄されて行く人間のドラマがあった。ジャン・ギャバン主演の作品のうちで「地の果てを行く」は彼のペシミズムがよくでた、すぐれた映画です。殺人を犯してモロッコの外人部隊に身を投じた犯人、執拗に追う刑事。苛酷な自然の中でぎりぎりの人間関係を追いつめていく。戦闘で敵弾に斃れた犯人に、ただの男にたちかえって死体にとりすがって号泣する刑事。「望郷」ペペルモコは甘ったるい大衆的な作品で、ただラストシーンの鮮烈な印象は忘れがたい。最後に「舞踏会の手帳」、舞踏会デビューで踊った相手に若き日の追憶を求めて男性を歴訪するオムニバス映画です。歳月の流れのなかで現れ、消えてゆく人生の虚実をテーマとしています。訪れた男性はすべて青春の夢破れた無残な人生を歩んでいる現実に、絶望するヒロイン。人生の空しさを描いたデュヴィヴィエの名作のひとつです。

つぎにジャック・フェデー監督です。作風はリアリズムです。純粋な作家であり、寡作な監督でフランスに３本の作品を残しています。「外人部隊」「ミモサ館」「女だけの都」です。いずれも高い評価を受けており、フェデーの名声を後世に残しています。

この時代のフランス映画の最高傑作はジャン・ルノアル監督の「大いなる幻影」でしょう。ドイツの捕虜収容所。雑多な階層のフランス軍捕虜の人間模様と、それを監視するドイツ人将校が、国家意識を超えた人間と人間の触れ合いにとけ込んでいく姿を淡々と描いたヒューマニズムあふれる名作です。最大の感銘をうけた映画の一つです。

フランスの４人の監督について簡単に触れてきましたが、ここに取り上げた作品は戦前の映画であり、現在の進歩した映画技術、社会事情の発展、豊かになった生活、すべての面で変化した現代に、今上映して鑑賞に耐えうるものかと思っています。しかしこれらの作品は古典的映画として評価されていると思っています。

会員の声

松崎　博（３５年・理工）

早稲田大学　ホームカミングデーに参加して

１０月２４日(日)　「ホームカミングデー」と「稲門祭」が開催され、卒業後４５年目の校友として参加した。肌寒い気候でしたが多数集ったクラスの面々と楽しい１日を過ごす

ことができた。

＊　ホームカミングデー；卒業後50年、45年、35年、25年の校友が招待されている

＊＊　クラス；昭和 35 年第一理工学部電気通信学科卒業　約２０名出席　鮎貝盛和氏も同級

午前中、卒業以来４５年振りに訪れた記念会堂でホームカミングデー式典が行われ、応援部による歓迎演奏で、立ち上がって肩を組み校歌を歌うと学生時代に戻るのに時間はかからなかった。

午後からは講座、講演、展示、各種アトラクションが多数開催されており、何れも賑わいでその殆どを見ることは出来なかったが　私の記憶に残るものとして

§エクステンション特別講座　実技「中国健康法と太極拳」を見学（太極拳部会員として）

竹内講師の指導で約３０名の部員が見事な演舞を披露した

§模擬店

西東京稲門会の「男の料理同好会」

毎月1回40名の会員で150回続いている「楽しく作って、美味しく食べて、思いきり飲み、大いに語る」が彼らのポリシーとか

おでん300円、豚汁150円、特製パンなどがメニュー

習志野稲門会の「そば打ち教室」

新そばによる本格的そばを提供

大盛況でしばしばチケット販売停止そば焼酎２杯（一杯200円)、もり蕎麦一杯400円を屋台で食す

§大隈庭園

皆で芝生の上に車座になり宴会も酔いも回り最高潮、当稲門会の方も一緒に記念撮影

（クラスと安次峰、河村、平山さん）

東稲広報室

○当会員佐藤雄二さんが代表を努める「東久留米の水と景観を守る会」は「柳窪の環境・保全を考える会」と共催（後援：東久留米市／所沢市教育委員会　協力：東村山の景観を守る会／こだいら水と緑の会／にいざ歴史文化財研究会）で、“黒目川源流沿いの「旧柳窪集落・民家」と松永耳庵ゆかりの重要文化財「柳瀬荘黄林閣」”の講演会（11月28日　13:30～　中央図書館視聴覚ホール）を、並びに特別見学会（①11月27日と29日　13:00～と14:30～　柳窪旧集落界隈　②12月4日　13:00～　所沢市坂の下、柳瀬荘/黄林閣）を開催する。詳細は佐藤雄二さん（TEL/Fax：72-6648）にお問い合わせ下さい。

○10月1日現在、本年度（募金開始後５年目）の当会募金額は寄贈者162名　324,000円となっている（前年度151名で302,000円)。累計額は1,670,150円。

＜訃報＞　11月4日、当会会員　本間信一さん（S24理工）令夫人泰子さまが、永眠されました（享年73歳)。　謹んでお悔やみ申し上げます。

［編集後記］この秋、「天災は忘れぬ内にやってくる」と、嘗ての格言を言い換えねばならないことを悟った。超大型台風が陸続と襲来したし、強震度の中越地震も発生している。海外でも最大級のハリケーンや未曾有の酷暑に襲われた。地球と自然の寄生物であったヒト科の動物がわが物顔にこの地球を破壊し汚染していることへのツケか……。たしかに“地球は怒っているのか”（新聞社説）も知れない。いかにも小市民的着想だが、取り敢えず、煙草を止めようかと編集子は考えた。自然は優しくも又恐ろしい。